

このまま進めていいのか 職員削減、民間委託...

2月議会
最終日
討論

厚木市議会2月定例会は3月20日に終了しました。
最終日、日本共産党議員団は釘丸久子議員が、補正予算、条例改正、新年度予算（一般会計、後期高齢者医療、国民健康保険、介護保険、公共下水道の4つの特別会計）に反対して討論を行いました。



釘丸久子議員 今年の春闘では、一部の企業は基本給の引き上げ（ベースアップ）に踏み切る動きが

ありました。中小企業を含め全体として大幅な賃金上昇はおぼつかないとの予想がされています。安倍内閣の『アベノミクス』は、異常な金融緩和と公共投資の拡大で刺激しながら大企業のもうけを増やせば、消費も拡大するという「トリクルダウン」おぼれ」の経済政策です。しかし、日本経済が長期にわたって悪化しているのは、勤労世帯の収入が1990年代末より年間70万円も減っていることに象徴されるように、所得が減り、消費が落ち込んだからです。国民の所得を増やす経済対策に転換しなければ、景気はよくなりません。
4月1日からの消費税増税による負担増がどこまで及ぶのか多くの人が不安を募らせています。消費税の8%への引き上げは国民に8兆円もの負担を押し付け、消費をさらに冷え込ませることは必至です。

厚木市の平成26年度予算は、一般会計と、国民健康保険事業や病院事業などの特別会計を合計すると、「過去最高の大型予算」です。予算規模では過去最高ですが、消費税増税による見せかけの規模にすぎません。消費税は厚木市が事業をするときにはしっかりと上乗せされます。市の財政にとっても増税の痛みがもたらがかってきます。

一般会計予算で評価できること

まず、マンション耐震診断への補助制度を新設したこと。無料アドバイザー派遣、予備診断への補助があります。大規模地震がいつ発生してもおかしくない状況の中、一般木造住宅だけでなくマンションへの耐震化を進めるなど、防災対策が拡大されます。

また、25年度に公契約条例を施行し、26年度には工事4件が予定されています。これまでの実態を調査し、さらなる改善を求めます。

教育環境改善では、中学校の冷暖房設置が25年度に完了し、26年度から3年かけて小学校への設置をすすめます。冷暖房だけでなく、トイレや体育館の改修など計画的にかつ速やかに実施されることを望みます。

4月26日、アミューあつぎがオープンします。今まで閉鎖されていた旧パルコが、改装されて市民交流プラザとして、また商業施設、映画館も併設するということで市民の期待が膨らんでいます。各地

今週の活動から



厚木市立病院の建て替え工事が急ピッチで進んでいます。3月18日には議会での現場視察、22日には地元住民への説明がありました。今しか見られない地下部分に設置された免震装置や地下の擁壁などを見てきました。今年12月には1期工事が終わり、来年2月には救急・手術棟と新南棟がオープン予定です。（左：釘丸久子議員、右：栗山香代子議員）

平成26年度の主な予算に対する採決一覧表

(○賛成 ●反対 ※討論)

2014年2月 議会採決一覧表	日本共産党	改革 あつぎ	みらい	公明党	市政 クラブ	民主 クラブ	新政会	市民の 党	神奈川 ネット	子育て 応援	採決 結果
一般会計	●※	○※	○※	○※	○	○	○	●※	○※	○	○
後期高齢者医療事業	●※	○※	○※	○※	○	○	○	●※	○	○	○
国民健康保険事業	●※	○※	○※	○※	○	○	○	●※	○	○	○
介護保険事業	●※	○※	○※	○※	○	○	○	●※	○	○	○
公共下水道事業	●※	○※	○※	○※	○	○	○	●※	○	○	○

にあった施設がここに集中しますが、今までの使い勝手の違いや不便なところが明らかに becoming するでしょう。市民の声に真摯に耳を傾け、施設の充実・改善を望みます。また、補聴器誘導システム（磁気ループ）がここでも使えるということ。一人でも多くの方に利用されるよう配慮してください。

市民の立場から反対の観点で指摘

第1は、職員削減の弊害です。現市長になってからの職員削減、給与削減などあまりにもその度合いが強く、昨年の決算審査の中でも指摘したところです。職員が疲弊していたら、十分な市民サービスができるでしょうか。働きにくい職場、働き続けられない職場を作って、途中で退職せざるを得ないようでは、市民サービスも十分に保障できません。それまで培ってきた職員のノウハウが、全うできないのでは勿体ないではありませんか。